

様式第16号（第26条関係）

（表）  
煙火消費計画書

時間	煙火の種類	打揚煙火の大きさ (号)	煙火の数量 (個・台)	備考

点火及び打揚の方法

煙火の種類	該当方法を○で囲むこと
単発	筒口から落とし火による。導火線又は速火線による。
連発	筒口から落とし火による。導火線又は速火線による。
スターマイン	電気点火による。導火線又は速火線による。
裏打ち	筒口から落とし火による。導火線、速火線による。
特殊仕掛け (水爆・金魚)	陸上に固定した筒から打ち込む。 導火線に点火後水面に投げ込む。 水中に立てた棒等に筒を固定し、速火線を利用して打ち込む。

(裏)

煙火消費計画書

消費の方法	打揚方法 <input type="checkbox"/> 単発 <input type="checkbox"/> 連発 固定方法 <input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 土のう <input type="checkbox"/> その他 ( ) 点火方法 <input type="checkbox"/> 導火線 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 煙火置場 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
製造業者若しくは販売業者の氏名又は名称及び所在地			
打揚業者の氏名又は名称及び所在地			
危害予防の方法	警戒の方法 別図のとおり立入禁止区域を設け、警戒員名を配置する。 防火措置 <input type="checkbox"/> 消火用水 <input type="checkbox"/> 消火器 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 防護措置 打揚の際の衝撃により、打揚筒の方向が変化しないように確実に固定する。 不発処理 筒内における不発は、多量の水を注入し、燃え残りの星等は、速やかに回収し水に浸す。		
連絡体制の確保	主催責任者 電話 打揚現場責任者 電話 管轄警察署 電話 管轄消防署 電話		
消費場所において火薬類を取り扱う必要のある者の氏名	作業区分	氏名 (年齢)	手帳の種類・番号
	点火・補助		
	点火・補助		
	点火・補助		
	点火・補助		

添付書類

- 1 消費場所の地図 (案内図)
- 2 消費場所平面図 (打揚場所、立入禁止区域の範囲及び設置方法 (カラーコーン、ロープ、バリケード等の配置)、保安距離、防火措置 (防火用水及び消火器の設置位置並びに数量)、警備員の配置等を記載)
- 3 必要に応じ土地建築物等所有者の承諾書 (学校、公園、道路等の使用許可及び河川使用届その他のもの)
- 4 手帳の写し (申請に間に合わない場合は、日本煙火協会への手帳交付申請書の写し又は手帳取得に係る「保安講習の講師名」及び「保安講習受講日 (予定日)」を手帳の種類・番号欄に記載し、手帳交付後に写しを提出すること。)